

事業提案

事業者：有限会社カネ政商店（所在地）宮崎県宮崎市新別府町雀田1185
 資本金：300万円 業種：鮮魚卸小売業 従業員数：51人

事業名：検査計量ラベル自動化生産管理事業

ロボット

IoT



AI技術の活用で、生産データを蓄積管理し、商品のトレーサビリティを行うシステム

事業者：有限会社カネ政商店（所在地）宮崎県宮崎市新別府町雀田1185
 資本金：300万円 業種：鮮魚卸小売業 従業員数：51人

【概要】

・人で行っている作業をデジタル化し、AIによる作業効率化とヒューマンエラーの削減により生産性の向上及び商品のトレーサビリティ管理の両立を行う。

【主な取組】

- ・金属探知検査からラベル張り迄の工程をオートメーション化
- ・製品の生産をAIによりデータ化し、事務所で一括管理

【事業の目標】

【定性目標】

- ・生産情報の記録をデータ化することによる事務作業の効率化

【定量目標】

- ・「SECURITY ACTION」二つ星を2024年7月に取得（自己宣言ID:40369335708）
- ・労働生産性年1%以上の向上

【取組を行う背景】

・現状では生産記録を現場で手書きし、作業終了後にパソコンへ入力している為、作業性が悪く、入力ミスなどのヒューマンエラーが起り、残業増加の要因になっている。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- ・1年目 $\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} \div \text{従業員数} = \text{労働生産性}$
 $(\blacktriangle 71,326,969 + 241,781,442 + 43,099,186) \div 51 = 4,187,326$
- ・2年目 $\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} \div \text{従業員数} = \text{労働生産性}$
 $(\blacktriangle 61,579,832 + 243,263,585 + 43,099,186) \div 51 = 4,407,508$
- ・3年目 $\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} \div \text{従業員数} = \text{労働生産性}$
 $(\blacktriangle 52,800,788 + 244,760,549 + 43,099,186) \div 51 = 4,608,998$

金属探知検査から計量、ラベル張りまでを自動化、製造した商品のデータをそのまま事務所のパソコンへ反映させ製造、出荷管理ができる。送られたデータにて、製造日や製造ロット管理ができ、出荷後のトレーサビリティ管理もできる。



【効果（成果）】

- ・効果①・システム導入前

金属探知検査（1人）重量測定（1人）ラベル張り及びデータ記入（1人）計3人

- ・システム導入後

金属探知検査、重量測定、ラベル張り、データ記入（1人）計1人

システム導入前人員3名－システム導入後人員1名＝2名 人員削減数 計2名

【今後の課題】

- ・人員削減できた分の工数を加工工数に振り分け社員教育に充てる
- ・人員削減できた分の工数を加工工数に振り分け生産量を増やし営業利益を増やす